



# 松小だより

11月号

高松市立松島小学校

## 「～子どもたちのがんばり～」

朝夕冷え込むようになり路地の花壇では菊が咲き始めています。この時期、児童の服装は半袖の子、長袖の子、ベストの子、上着の子等と多様です。まさに季節が移り変わっていることを服装でも感じることができます。

さて、10月を振り返りますと、多くの行事があり、児童にとって一段と成長する機会となりました。例えば、陸上記録会。学校代表として参加した25名がほぼ全員が自分の記録を伸ばすことができ、11月3日丸亀競技場である県大会に高松市代表として5名出場することになりました。



中学生の前で演奏する6年生

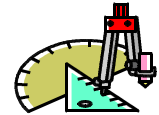
文化の面でも、3年生は松島コミュニティで松島校区文化祭に、4年生はアルファあなぶき大ホールで市教育文化祭に、6年生は光洋中学校体育館で光洋中学校文化祭に参加し、それぞれ素晴らしい歌声を披露することができました。緊張するなか大勢の前で歌うことは児童にとってとてもいい経験になり今後の励みになったと思います。

また、27日にあった音読カップでは、それぞれ学級で選ばれた児童が教科書の一節を堂々と読み上げていました。みらい科で指導に来てくださってる永見先生（読み聞かせ）より審査員を代表して「読み方がとても上手になってきている。情景を豊かに思い浮かべることができる。」など一人ひとりに講評いただきました。終わったあと校長室で審査員の方々から「年々レベルアップしている。」「普段の学級での積み重ねのおかげでしょう。」などのコメントをいただきました。低中高3名の代表児童の録音を県音読カップ大会に応募します。

いろいろな場面での児童のがんばりがさらなる飛躍につながっていくことでしょう。



## 「学校評価について」



保護者の皆様にご協力いただき、夏休み前後に実施しました松島小学校の取り組みについて調査結果がまとまりましたので別紙のようにお知らせします。調査項目については、保護者・児童が同じ観点で比較できるように、また、保護者の方々が評価しやすいように項目に説明を入れるなどの配慮をしました。

結果を見ますと、学校生活の楽しさ、英語科・みらい科の内容については保護者・児童ともに比較的高い評価でした。なかには、秋休みのように保護者と児童の評価のずれが生じているものや、5年生の教科担任制のように双方とも比較的评价が低いものもありました。また、保護者の方々が内容について十分に分からないと選択された項目もありました。

高い評価をいただいている項目については継続し、評価が低かったものやずれのあった内

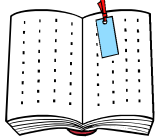
《裏面もあります》

容については改善策を講じたり、再分析を行ったりして今後の改善に生かしていきたいと考えています。詳しくは4日に配布いたします「平成20年度 学校評価（中間期）考察」をご覧ください。また、アンケート全項目の調査結果については、校内に掲示しますので校舎感謝祭等、ご来校の際にご覧ください。

## 「全国学力・学習状況調査及び県学習状況調査について」

全国の小学校・6年生中学校3年生を対象とした全国学習状況調査が昨年に引き続き実施されました。6年生の保護者の方々には、1学期懇談会の折に、個人の結果をお渡ししました。今回、6年保護者の方々に学校全体としての結果を別紙でお知らせします。調査項目については、昨年度等との比較のため、算数及び国語のA知識とB活用についての調査と質問紙調査がありました。県及び全国については新聞等でご存じだと思いますが、今年度も、小・中学校ともに全国平均を上回る状況にありました。本校においても、ほとんどの項目について、全国及び香川県の正答率を上回る状況でした。それらを踏まえながら、本校の今後重点として取り組むべき内容は次の通りです。国語においては、目的や課題に応じて適切に書くことができる指導の充実。算数においては、面積など量に関する感覚を豊かにする指導の充実。生活実態については、全教育活動においては「自主性」「挑戦する心」「自尊感情」「規範意識」「自然体験」等の充実を図っていく所存です。

また、県学習状況調査結果を見ましても、全国と同様な課題が見られますので学年の実態に応じて、各教科や放課後スタディサポートでの指導の充実を図っていきます。また、家庭学習においても、宿題の出し方の工夫や家庭学習充実に役立つ情報提供に努めて参ります。



## 「読書の秋～読書週間に入りました～」



今年度は、10月27日(月)から11月7日(日)が読書週間となっております。本校の課題の一つが読書の充実です。学校でも、普段の読書活動に加え、読書会を開くなど各学級で工夫して児童の読書活動充実を図る予定です。ご家庭でも是非この機会に親子読書等の取り組みをお願いいたします。

私の2冊目のお薦めは、「子どもが育つ魔法の言葉」(ドロシー・ロー・ノルト著)です。世界37カ国で愛読され、日本でも150万部を超えるベストセラーとなった本です。子育てでもっとも大切なことは何か、どんな親になればいいのかなどについて書かれています。2005年2月に皇太子殿下が誕生日の記者会見に朗読された詩としてもよく知られています。私自身、この詩を家の壁に貼り自分の言動を振り返るようにしています。

もう一つのお薦めは、読書記録の工夫です。なかなか自分の読んだ本を記録するのは面倒だったりするのですが、先日、NHKおはよう日本「まちかど情報室」で読書した本の工夫した記録法を紹介していました。「読み終えた本ラクラク整理・活用」というテーマ(<http://www.nhk.or.jp/machikado/info/details080924.html>)で、自分が読んだ本の一覧が作れるインターネット・サイト(<http://mediamarker.net/>)(無料)が紹介されていました。

《松島小学校ホームページでこの「松小だより11月号」をクリックしていただけるとURLを入力することなくリンクで見ることができます。》

